



かもめ会だより

□「おしゃべり会」と「系川先生講演 DVD 映写会」同時開催のお知らせ

○第3回おしゃべり会

日時 9月16日(金)12時~ 会員は参加無料

会場 品川区立障害児者総合支援施設「ぐるっぼ」
1階 カフェラウンジ「みんなのテーブル」
(品川区南品川3-7-7 TEL03-6712-4405)

内容 感染に配慮して食事を楽しみます。メニューは「ドリアセット」又は「ビスケットセット」(写真右)共にスープ、飲み物付きです。食事後マスクを。

申込 昼食予約のため下記に参加申込をお願いします

090-6190-6186 shoda3@east.cts.ne.jp 庄田まで



○系川先生のかもめ会 40周年記念講演会 DVD 映写会のお知らせ

日時 9月16日(金)13時30分~15時 ※上記「おしゃべり会」終了後に開催

会場 品川区立障害児者総合支援施設「ぐるっぼ」地下1階「多目的ホール」

内容 本年3月5日にネット開催した系川昌成先生の「かもめ会創立40周年記念講演会」を記録したDVDの映写会を行います。3月に視聴できなかった方は、ご参加いただくようお願いいたします。会員以外の方も参加できます。予約不要、無料です。



□東京都医学総合研究所セミナーで系川先生が Zoom 講演されます

系川昌成先生の「心の健康と老化」講演会がオンライン（Zoom）で開催されます。

日時 9月30日（金）14時～

会場 オンラインのみ（Zoom ウェビナー）

※下記の Zoom の登録フォームから事前登録を行ってください。

<https://www.igakuken.or.jp/public/seminar/2022/series0930.html>



講演要旨

人類は約20万年前にアフリカで誕生して以来、そのほとんどの時代を飢餓と感染症に脅かされながら生き延びてきました。公衆衛生の向上等により特に乳幼児期の死亡率が減少したのは、それほど昔のことではありません。夏目漱石が留学したころのイギリスの平均寿命はわずか45歳、アメリカは47歳、日本は43歳だったのです。生まれた子供のほとんどが早逝することなく80年前後の人生を送る社会を、これまでの人類は経験したことがありませんでした。

ところで、老化が人体部品の文脈で語られることがあります。たとえば、歯のエナメル質は年齢とともに摩耗し、アメリカでは60歳の時点で平均して3分の1の歯を失います。一生の間に顎の筋肉量は40%減少し、下顎の骨量は20%低下して脆くなります。したがって、高齢者には消化の良い柔らかい食事をすすめるようになります。そして、血圧や脂質を調節し、壊れた関節や弁を人工物で置換するようになりました。このように、能力主義と蛋白質の品質、部品の性能といった観点から老化を管理する現代の発想は、高齢者の生活維持をともしれば機械論的な修理作業に貶める危険性をはらんではいないでしょうか。

75歳から106歳までの修道女678名の疫学調査ナン・スタディが、1986年に米国ノートルダム教育修道女会で開始され現在も進行中です。ナン・スタディでは、生前の認知機能検査で認知症がないと診断された修道女の12%に、死後の脳解剖でアルツハイマー病の病理変化が認められました。なぜ、蛋白質の病的性能は生前の彼女らの健康を冒さなかったのでしょうか。

その答えのひとつに、脳が心の一部ではあっても全てではないという事実があるかもしれません。たとえば、尊厳という脳の部品は存在しませんし、自尊心という蛋白質もありません。人類がこれまでに出会ったことがないほどの超高齢化社会を迎えていますが、心健やかに暮らす長寿者を支えた共同体の知恵は、これまでの人類社会にも、現代の世界各地のコミュニティにも存在しています。人との関係性や生活習慣など修道女の若いころからの来歴にも、心の健康と老化を考える上でのヒントが満ちています。本セミナーでは、部品の品質管理とは異なる観点から、健やかな心と老化についてお話しをしたいと思います。

□9月精神保健家族勉強会が開催されます

9月の精神保健家族勉強会(荏原保健センター主催)

日時 9月14日(水) 13時30分~

題名 「向精神薬と薬剤師の役割について」

講師 品川区薬剤師会の加藤 肇先生

会場 荏原保健センター(品川区荏原2-9-6)2階 多目的室

電話 03-3788-7016

皆様のご参加をお待ちしています。参加希望の方は、荏原保健センターにお電話ください。
(情報提供:笠嶋保健師さん)



□10月25日(火) 役員会のお知らせ

10月25日(火)13時30分~15時頃まで、かもめ会役員会を荏原第3地域センター第3集会室(品川区平塚1-13-18 東急池上線「戸越銀座駅」下車、徒歩5分)で行います。

内容は今年度の「かもめ会講演会」について等です。役員の皆様はお集りくださいますようお願いいたします。

□「ふくしまつり 2022」の開催方法の変更について

当初9月17日(土)に開催する予定であった「みんな集まれふくしまつり 2022」ですが、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、開催方法が変更になります。

どのような方法で、いつ頃開催するかは実行委員会によるアンケートを受けて、これから決めることになりました。

インターネットを使用しての開催になる可能性が強いと思われます。次のかもめ会だよりで、開催内容のお知らせができるかと思えます。

会員の皆様も何かご意見がございましたら、ぜひ「かもめ会」までお寄せください。

9月1日は防災の日です。
非常持出し袋のチェックをお忘れなく...



□7月開催の精神保健家族勉強会の開催報告

今回のテーマは「心療内科におけるカウンセリングの実際」で、参加者は15名でした。講師は「アーツクリニック大崎」の臨床心理士の長野麻美先生で、コロナ感染者の急増のため Zoom で講演していただきました。

心理カウンセリングの解説と枠組み、心療内科でカウンセリングを開始する手続きについて教えていただきました。事前のガイダンスや面接、部屋の環境や料金を支払うことも効果的な意味があるとお話でした。

カウンセリングで問題が完全になくなることはないが、生活していける見通しができたときなどに目標に沿って振り返りを行い、クライアントが終結を決めるそうです。現状に気づき、病気と付き合い、自分の特性と生きることを一緒に行い、家族や支援者とのつながりが維持できるようにしていると話されていました。(情報提供: 笠嶋保健師さん)

□7月2日開催の第1回施設見学会と第2回おしゃべり会のご報告

今年度の第1回目となる施設見学会として、区内に新規開所した男性専用障害者グループホーム「おれんち」(写真右、東大井5-23-24)のオープンハウスに参加しました。

施設内をひととおり見学したのち、質問タイムとなりました。会員からは入居に関する質問などが多く出ました。

施設見学会終了後、14時30分頃から大井町駅前のカフェレストラン「プロヴァンス」に場所を移し、参加者11名で今年度の第2回目となるおしゃべり会を行いました。

感染に気を付けながらコーヒー・紅茶と手作りの焼き菓子を頂いたのち、施設見学会の感想を述べ合い、また近況報告や情報交換、悩み事相談などを行いました。



□同封資料のご説明

会員の方に、品川区障害者七団体協議会主催の講演会「障害福祉計画ってなあに? ~学ぼう! 未来に関わる障害者の計画のこと」のチラシ(裏面が講演会申込書)及び、4年度版の「障害者福祉のしおり」と東京つくし会編集の「道しるべ」を同梱させていただきます。